

### 隙間緑

#### - Bプロジェクト2へ -

「庄内西町公園・親和自治会館前の庭」の整備は順調に進み、春咲き植物が花壇を賑わしています。さらに、夏・秋の花壇用の花苗の種子蒔きも順調に進んでいます。ご協力下さった親和自治会の皆様方、大変ありがとうございました。

今年度は、育苗拠点の確保とネットワークづくり、第2の「隙間」の緑化を目指します。

### 学習緑

#### - 豊中の緑を知る学習会企画 -

学習緑は、専門的な難しい勉強をしているわけではありません。近くにこんな花が咲いていたけど、あれは何の花？など、日常の素朴な疑問から、お互いの知識・思いを少しずつ出し合って、共に学び合う活動をしています。

こども向け、大人向けの学習会の企画を始めとして、みんなの興味のあることをきっかけに、豊中のみどりについて一緒に学びませんか？今年度は外に出て行く企画満載の予定です！

### 豊中みどりの交流会

-こんな活動やっています-

### 地域緑

#### - 地域緑ツアー実施してます -

地域で、みどりのまちづくりをすすめるために、何ができるのかを考えています。例えば、『みどり』について活動している団体の活動場所を記入した地図(グリーンマップ)や、その団体がどんな目的で活動をしているかを書いたグリーンカルテの作成などです。また、みんなの活動を体験も含めて見学に行く『地域緑ツアー』も企画しています。

現在では、テーマにこだわらず、植物の勉強会も行っています。

### 情報緑

#### - みどりの情報発信しています -

情報緑グループは、情報誌「豊中みどりだより」を発行することになりました。本誌には、みどりに関する諸々の話題を掲載しています。環境問題についての興味深い記事や、個人・団体の日々の活動内容も詳しくお知らせしています。「豊中みどりだより」は、豊中市のホームページで見ることができます。

今年度も、「みどりの交流の場」をもちたいと思っています。みどりを目にする心が和みます。心を豊かにし、地球温暖化防止に役立つみどりを身近な生活圏に取り入れるために、皆さんの力をお借りしたいと思います。

### 豊中みどりの交流会にご参加ください (旧称：豊中みどりのワークショップ)

「豊中みどりの交流会」は、市内でみどりの活動をされている個人・団体が自由に参加し、情報を交換したり、様々なプロジェクトを協働で進めるために設置された会議です。ぜひ、みなさんご参加ください！

#### 豊中みどりの交流会の概要

目的  
みどりに関わる様々な情報交換  
みどりの基本計画のリーディングプロジェクトの推進

#### 活動内容

学習緑、隙間緑、地域緑、情報緑の4つのグループに分かれて、さまざまなプロジェクト活動  
年1回程度の全市イベントの開催など

#### 開催日・開催頻度

おおむね2ヶ月に1回開催しています。  
開催日は事務局までお問い合わせください。  
市報にも載せています。

#### 事務局

豊中市公園みどり推進課 〒561-8501  
豊中市中桜塚3丁目1番1号  
06-6858-2883 FAX06-6842-2802



昨年の交流会の様子

編集後記  
1月は記録破りの暖冬で、金沢市では53年ぶりの積雪0を記録、神戸市の平均気温が7.5度と110年ぶりに最高を記録。4月には東京では19年ぶりの雪と今年ほど地球温暖化を肌で感じる年はなかったですね。温暖化防止のためにみどりを増やす運動にご参加下さい。  
「子や孫にきれいな地球を引き継ぐために」  
今私たちに出来ることを実行しよう。(入江)



豊中みどりだよりは、みんなで、どんどん、りよっか(緑化)しよう！という意味を込めて、豊中市でみどり活動を進められている方に向けて発信するニュースです。



Toyonaka Green Action

## 豊中みどりだより創刊号

## 特集 地球温暖化と「みどり」を考える



待兼山の風景

### 【豊中みどりだより創刊にあたって】

豊中みどりの交流会の情報緑グループでは「豊中みどりだより」を発行することになりました。本誌では、地球温暖化防止への個人や団体の取組を紹介すると共に、市民の最大の関心事である環境問題について平易に解説していきます。本だよりがみどりの取組に役立つことを願っています。

### 豊中みどりの交流会2007

下記日程で開催します。

日時：10月21日(日)

場所：すてっぷ(エトレ豊中5階)

テーマ：ひろげよう“みどり”の和

特集：地球温暖化と「みどり」を考える  
温暖化の生き証人たち。

昨冬は暖かい日が多く、少し変だと感じられた方もあると思います。ここ20年で日本の気温は0.8 上昇したと言われています。でも、0.8 程度の温暖化では、実生活にどんな影響があるのか、理解しにくいものですね。

ところが動植物の世界では大きな変化がゆっくりと、しかも明確に起きています。温かい地方に住んでいたムシたちは、この気温上昇で北へ北へと住み家を移しています。

元々、九州・四国地方など温暖地にいたナガサキアゲハ(食草は柑橘類)は1970年代末頃から近畿地方で見ることが出来るようになり、豊中でもナミアゲハやキアゲハなどと同様の普通種になりつつあります。今では、東海地方を経て、1990年頃から関東地方でも生息しています。



ナガサキアゲハ

この頃、ツマグロヒョウモンが庭先でもよく見られます。庭先のパンジーやスマレの葉が食べられ荒らされています。

すが、このチョウの幼虫の仕業です。幼虫は背中にオレンジ色のストライプ模様をつけた黒い毛虫です。20年前ぐらいは瀬戸内海など温暖な土地にいましたが、温暖化に伴い、北の方へ住み家を移動すると共に、先述の園芸植物を食べるので、市街地にも多く、今では関東や北陸地方にも生息しています。

また、マラリヤやデング熱の病原菌を運ぶハマダラカやネッタイシマカが北上するかもしれないので、熱病の流行が懸念されます。

大半の昆虫たちは飛ぶことにより、急激な温暖化にある程度対応します。しかし、直ぐに移動できない植物が、温暖化に対応する遺伝子を体内に構成できるのには、数百年以上の時間が必要だそうです。例えば、ニレは1 km 移動するには100年～1,000年、クリヤブナは300 m 移動するには200～300年が必要です。

植物に大半の食料を頼っている人間の食生活に、大きな影響が出てくる事が目になってきています。

急激な地球温暖化を身近な昆虫から学び、人間がどう対処したら良いか考えてみましょう。

(文・写真 水野辰彦)



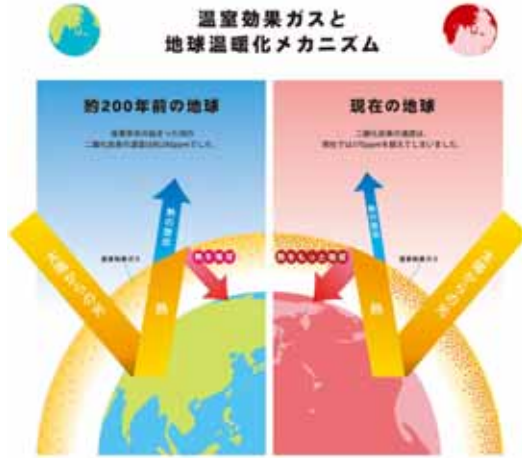
♀  
♂  
ツマグロヒョウモン

地球温暖化って？

「地球温暖化」とは、地球を覆った二酸化炭素などの温室効果ガスによって、大気や海洋の平均温度が上昇する現象のことです。通常、地球では太陽から届くエネルギーと釣り合ったエネルギーが宇宙に向けて放出されます。しかし、「二酸化炭素」などの物質はこの赤外線を吸収し、一部を地球側へ跳ね返す性質を持っていることから地球全体が温室のようになり温度が上昇するのです。

△家庭でできる温暖化対策▽

- ・ 1日5分間のアイドリングストップを行う
- ・ 冷房の温度を1 高く、暖房の温度を1 低く設定する
- ・ 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす
- ・ 週2日往復8kmの車の運転をやめる
- ・ 待機電力を90%削減する



出展：全国地球温暖化防止活動推進センターHP



かたつむりの  
みどりのすだれ

豊中のみどりの団体紹介 シリーズ

堆肥づくり あれこれローズマリー

～2007年春スタート！「みどりのすだれ運動」～

堆肥づくりあれこれローズマリーは、大阪府豊中市に拠点を置いて、有機堆肥の作り方や自然栽培の手法などを、多くの人達と共有するために結成された、市民発非営利の活動グループです。

私たちの活動は「堆肥づくりあれこれ」のグループ名のごとく、一つの手法にとらわれず色々な方法を取り入れるようにしています。堆肥づくりをしていると、ゴミの分別や環境問題などにも自然と目を向けるようになり、何よりも物の命を大切にしようになったと皆さんが言われます。

主な活動内容

- \* 堆肥づくりの講習会を毎月開催しています。開催日時などは豊中市広報誌「市民の広場(催し)」をご覧ください。受講は無料で申込みは不要です。どなた様もお気軽にお越し下さい。
- \* 種の小分け売りをしています。個人で一袋購入すると多過ぎることがあります。小分けすることで、多種類の種を蒔くことができ、種の無駄にもなりません。玉ねぎ等一部は育苗してからお渡しする場合があります。
- \* 収穫野菜の重ね煮会(年2回)をしています。毎回大変好評で、最近は男性からの申し込みも増えてきました。また自家製芋を使って、こんにやく作りを楽しんでいます。
- \* 手作りぼかし( )を安価でお分けしています。
- \* 「みどりのすだれ運動」を2007年春からスタート

( )ぼかし：微生物と米ぬか・水・黒砂糖を混ぜて、熟成させたもの。

窓辺にネットを張り、「すだれ」のように、つるをはわせます。

はわせるつる物として、ゴーヤ、つるむらさき、朝顔、るこう草などが適しています。少しずつこの運動の輪を広げて行きたいと思っています。

<みどりのすだれ体験者>

鮮やかなグリーンで心が和み、見た目にも非常に美しかった。部屋から見ると、葉がそよそよと揺れ、爽やかで癒された。部屋が涼しくクーラーを使わずに過ごせ、電気代の節約になった。みどりのすだれの遮光のお陰で、体感温度が3度位低く感じられた。作物が育つ過程の観察も楽しめ、生育パワーをみて元気が貰えた。葉水(はみず)をして、より涼しく過ごす工夫をした。ゴーヤやつるむらさきは食べることができるのも醍醐味。目隠しになった。

(会の概要)

- 活動人数：約30名
- 活動日：月一回
- 設立：1990年代半ば
- 問い合わせ先：  
堆肥づくりあれこれローズマリー 藤田(事務局)  
(電話) 06 - 6854 - 0971

